114	14		

編	章	節	条	枝番	工	種	浿	一定 項 目	規格値
8 砂防編	1砂防えん堤	3工場製作工	4		鋼製えん堤仮 工	設材製作	部材	部材長 l (m)	$\begin{array}{l} \pm \ 3 \cdots \ \ell \leq 10 \\ \pm \ 4 \cdots \ \ell > 10 \end{array}$
8 砂防	1 砂防	8 コン	4		コンクリート 体工	えん堤本	基	: 準 高 ▽	±30
阿編	めえん堤	クリート						端部 W ₁ , W ₃ 幅 W ₂	-30
		・えん堤工					水道	通しの幅ℓ1, ℓ2	±50
							堤	長 L ₁ , L ₂	-100
8 砂防	1 砂防	8 コン	6		コンクリート	側壁工	基	準高▽	±30
編	え ん 堤	クリー					ф	$\vec{\mathbf{H}}$ \mathbf{W}_1 , \mathbf{W}_2	-30
		トえん					長	ŧ ż L	-100
		堤 工							

175

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
図面の寸法表示箇所で測定。 図面の表示箇所で測定。		
	$\begin{array}{c c} L_1 & w_1 \\ \hline \end{array}$	
1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。	L WI	

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	I	種	涯	別 定 項 目	規格値
8砂	1 砂	8 7	8		水叩工		基	集 準 高 ▽	±30
防編	防え	ンクリ					ф	i W	-100
	ん 堤	リート					厚	ž t	-30
		えん					延	臣 長 L	-100
		堤 工							
8 砂	1 砂	9 鋼	5	1	鋼製えん堤本体コ	-		堤 髙 ▽	±50
防編	防え、	製え			(不透過型)		水通	長 さし1, し2	±100
	ん 堤	ん堤工					部	幅 w ₁ , w ₃	±50
		11						下流側倒れ △	±0.02H1
							袖	袖 高 ▽	±50
							部	幅 W ₂	±50
								下流側倒れ △	±0.02H2
8 砂	1 砂	9	5	2	鋼製えん堤本体コ	-	堤長I	格	±50
防編	防えん	製えん			(透過型)		堤長	l 格・B・L	±10
	堤	堤 工					堤幅V	V 格	±30
							堤幅v	w 格・B・L	±10
							堤幅v	v A	± 5
							高さF	H 格・B・L	±10
							高さF	I A	± 5

		単位: mm
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所で測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。	L V W	
1. 図面の表示箇所で測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。	$\begin{array}{c} \cdot \\ \cdot $	
(備考) 格:格子型鋼製砂防ダム A:鋼製スリットダム A型 B:鋼製スリットダム B型 L:鋼製スリットダム L型	H H W W W W W W W W	

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	泪	別 定 項 目	規格値
8 砂	1 砂	9 鉄	6		鋼製側壁工	块	高 ▽	±50
防編	防え,	鉄製え				長	ŧ さ L	±100
	ん 堤	ん 堤 工				ф	$\vec{\mathbb{B}} = \mathbf{W}_1, \ \mathbf{W}_2$	±50
						Т	「流側倒れ △	±0.02H
						高さ	h < 3 m	-50
						h	$h \geqq 3 \text{ m}$	-100
8 砂	2 流	5 床	8		魚道工	基	基 海 同 ▽	±30
防編	路	固めて				ψį	W W	-30
		工				店	うさ h ₁ , h ₂	-30
						厚	Iさt ₁ , t ₂	-20
						<u>م</u>	臣 長 L	-200
8砂	3 斜	6 山	4		山腹明暗渠工	基	集 準 高 ▽	±30
防編	面対策	腹水路				J	厚さ t ₁ , t ₂	-20
	A.	Ï				ψį	i W	-30
						ф	$\overrightarrow{\mathbb{H}}$ \mathbf{W}_1 , \mathbf{W}_2	-50
							高さ h ₁ , h ₂	-30
						深	-	-30
						延	E 長 L	-200
					L			

		単位:mm
測 定 基 準 1. 図面に表示してある箇所で測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。	測 定 箇 所 L W: H W2 Δ	摘要
施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき1箇所、延長40m (又は 50m) 以下のものは1施工箇所につき 2箇所。	h ₁ w t ₂	
施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき1箇所、延長40m (又は 50m) 以下のものは1施工箇所につき 2箇所。	$\begin{array}{c cccc} t_1 & w & t_2 \\ \hline & & & & \\ h_1 & & & & \\ \hline & & & & \\ h_2 & & & & \\ \hline & & & & \\ \hline & & & & \\ \hline & & & &$	

11/ L	١.	
田石	7	mm

編	章	節	条	枝番	I.	種	測定項目	規格値
8 砂防	3 斜 面	7 地 下	4		集排水ボー	リング工	削孔深さ 0	設計値以上
編	対策	水排					配置誤差d	100
		除工					せん孔方向 θ	±2.5度
8 砂防	3 斜	7 地 下	5		集水井工		基 準 高 ▽	±50
編	面対策	水排					偏心量d	150
		除工					長 さ L	-100
							巻立て幅w	-50
							巻立て厚さ t	-30
8 砂	3 斜	9 抑	6		合成杭工		基準高▽	±50
防編	面対策	北杭工					偏心量d	D/4以内かつ 100以内
	來	Т-						1005/11

181

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
全数	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
全数測定。偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
全数測定。		